



## 開かれた 地域 教育協議会

子どもたちの健やかな成長のために、学校・家庭・地域社会が協働して子どもの育成に取り組もうと、市内の各中学校区18に教育コミュニティの中核組織として地域教育協議会がそれぞれ作られています。

地域の機関や団体の代表、機関等から推薦を受けた人だけではなく、地域の有志、子どもなど、いろいろな活動にできるだけ多くの人がかかわることで、多種多様な取り組みができると考えます。しかし、各地域教育協議会会則で、地域の有志・子どもが構成メンバーになっているのはごく少数でした。(下表参照)幅広い地域住民の参加を求め、開かれた組織を目指していくよう質問しました。

### ■ 回答 ■

教育委員会としても、子どもを中心に据えた取り組み等の情報発信や、地域の大人と子どもが互いに顔と名前的一致する教育コミュニティの醸成、幅広い地域住民の参画による子どもたちの健やかな育成を目指す組織として、地域教育協議会に期待している。



地域の有志が明記されている協議会	
地域有識者	豊津西中、第二中
地域の有志	山田東中、山田中、西山山中
子どもの参加が明記されている協議会	
ジュニアリーダー会代表	豊津西中
小学校児童会・中学校生徒会	西山山中
ジュニアリーダー・小学校児童会・中学校生徒会	六中

(仮) 青少年育成計画策定にあたっては、子どもたちが意見を述べる権利(意見表明権)を尊重し、大人たちが子どもの意見をきちんと受け止めて、進めていただくよう要望しました。

### ■ 回答 ■

市内の6校の高校生による「青少年の居場所について」パネルディスカッションを開催した。「市内には、プールや体育館など良い施設がたくさんある」「今ある施設の宣伝をしたらよい」「今の施設で十分充実している」「パーティーなどができる、使用料が安く、広い場所がほしい」、「集會施設は高校生だけでは使えないと思っていた」などの意見があり、施設不足よりもPR不足が大きかった。今後、青少年に届くPRのあり方も含め、青少年育成計画の策定の中で議論を進めていきたい。

### ● コメント ●

青少年対象の拠点施設の建設を検討中とのことですが、市内の公共施設の数是他市に比べてたくさんあります。特に、千里ニュータウン地域を除き、各小学校区に一つずつある地区公民館は、無料で使える身近な施設です。もっと子どもたちや子育て中の人が気軽に使えるような仕組み、使う側の意見が届くシステムが必要です。「子どもを中心に据えた・・・」地域教育協議会も、子どもたちが当事者としてかかわることが大きなポイントですが、まだまだ子どもたちは対象者でしかありません。1994年に日本が批准した「子どもの権利条約」の中の「育つ権利」「参加する権利」が尊重される社会、地域を子どもたちと共に作っていきましょう。

## 子どもの 居場所

仕事を持つ親より家庭で子育てをしている人(在宅育児者)の方が育児不安が強いという統計があります。育児不安から精神的ストレスや児童虐待を引き起こすこともあり、国の新エンゼルプランの施策目標にも在宅の乳幼児も含めた子育て支援の充実が掲げられています。

また、至れり尽くせりの子育て支援もいけれど、まずは子どもが自らの力で育っていくことを支援する子育ての場が欲しいという声を良く聞きます。

そこで、公立幼稚園の未就園児対象の園舎園庭開放・行事参加などの充実と、児童館・センターでのランチコーナー・ベビーベッド・利用者同士の情報交換用掲示板の設置をするなど、地域で子どもを育てる・子どもが育つ環境整備について質問しました。

### ■ 回答 ■

未就園児の保育活動や行事への参加、子育て講座・講演の開催等を行っている。14年度からは、傷害保険・賠償責任保険を在園児以外の子どもや保護者にも適用する等、保護者同士が自由に交流できる場の設定や子どもたちが安心して遊ぶことができる機会の充実にも努めている。

児童館・センターについては、指摘の点をふまえ、『くらしの友』等で乳幼児と保護者も利用できることの広報に努め、場の提供を進めていきたい。ランチタイムは、現在、館内での子どもたちの飲食は禁止しているが、就学前の親子には交流の場となることも考えられるので、引き続き検討していきたい。

A) 低学年補助者とクラス担任教員との打ち合わせ時間が十分取れないと聞いています。また、一人一回6ヵ月以内の雇用で一回に限り契約更新できますが、年度替りや夏休み・冬休みに契約を一旦切るため、同じ補助員を一年間継続して雇用できません。子どもたちのために1年間継続して雇用できるようにできないのか質問しました。

B) 読書活動支援者の配置によって、子どもたちの読書活動にどのような効果が表れているか、また支援者を来年度は1校に1人の配置できるように質問しました。

### ■ 回答 ■

A) 低学年補助者は、1日4時間という限られた勤務時間ではあるが、低学年の児童の生活・学習面での指導に大きな効果をあげている。指摘の学級担任等との連絡調整時間の確保については、業間休み等を効果的に活用するとともに、勤務時間帯をより柔軟に扱うなど配慮していきたい。また、同じ教員補助者が一年間継続して配置されることは、児童の指導上も望ましいことであり、今後とも府と協議していきたい。

B) 本市小中学校での調査の結果、読書活動支援者の未配置のときと比べて、「開館時間が増えた」「子どもの読書に対する興味・関心が高まった」「貸し出し冊数が増えた」「読書環境が整備された」等、各学校における読書活動の活性化と学校図書館利用の伸びが明らかになっている。

今後の配置については、活用のあり方や学校のニーズを十分に研究・調査する中で、検討していきたい。

注) 2002年から国の緊急雇用創出事業により、小学校に低学年補助者、小・中学校に読書活動支援者を配置しています。

## 子育て支援 から 子育て支援

## きめ細やかな 教育